

Environmental Report

環境報告書

2021



北海道大学生生活協同組合

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

目次

[目次・北大生協環境方針].....	01	[資源の循環利用]	
[専務理事挨拶].....	02	・ ごみの分別状況.....	07
[北大生協環境活動概要]		・ 国産間伐材割り箸の使用.....	08
・ 事業規模、環境実施体制.....	03	・ 一般廃棄物.....	08
・ 環境課題推進委員会.....	04	・ 産業廃棄物.....	09
・ 環境実施体制、委員会活動.....	04	・ 食堂廃油のBDF化.....	10
[環境保全]		・ ビン・缶・ペットボトルの再資源化.....	10
・ 食堂の運営状況.....	05	[環境データの推移]	
・ 食堂排水の管理（GT 槽の清掃）.....	05	・ 総エネルギー使用量.....	11
・ 不要・放置自転車の回収.....	06	・ 水道使用量.....	11
		・ レジ袋使用量.....	12
		・ 資源ごみ回収量.....	12
		[組合員・地域の方へ].....	13

北大生協環境方針

（2005年10月理事会にて策定、2011年委員会・理事会で今後も維持することを確認）

私たち北海道大学生生活協同組合は、「環境保全は私たちの行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的且つ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定します。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防を図り、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めていきます。

1. 北海道大学の環境方針、環境関連の法律、規制、条例及びその他受け入れを決めた事項を遵守します。
2. 北海道大学の環境マネジメント実施体制に積極的に参画します。それらの活動に参加する組合員の活動を応援します。
3. 生協施設における電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。
4. 環境負荷に配慮した商品の開発・改善・普及をすすめます。また「グリーン購入」の取り組みを推進します。
5. 学生・院生の環境配慮に関する活動の場をたくさん作り、北大構成員自身による環境活動を広げます。

専務理事挨拶

北大生協では、2005 年度から行っております「環境配慮へのとりくみ紹介」を、2007 年度より「北大生協 環境報告書」として毎年作成し、2013 年作成を最後に途切れておりましたが、8 年ぶりに2020 年度作成を再開いたしました。

北大生協は、2005 年 9 月に北海道大学の環境方針が定められたことを受けまして、2005 年 10 月に北海道大学の環境方針に沿った環境負荷の低減と環境保全に努めるために「北大生協環境方針」を決定しました。さらに「環境保全は私たちが行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的かつ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定してまいりました。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防をはかり、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めています。



この間の取り組みをご紹介しますと、2006 年度から行っている①道内産の森林育成につながる割り箸の採用（06 年 10 月から）②食堂から出る廃油の再資源化（06 年 11 月から）③大学内の放置自転車の再資源化（06 年 11 月から）④インク・トナーカートリッジの回収（07 年 9 月から）⑤食堂を中心としたごみ分別強化（07 年 10 月から）⑥レジ袋の削減と水道等の使用実績の削減に向けた取り組み（09 年年度から）などを行っています。またコロナ禍になる前には、大学祭で大学祭実行委員会とも連携して学生によるごみ分別ナビゲーション活動、学部事務と連携して大学内の放置自転車の再資源化の取り組みを行っていました。放置自転車は、2020 年度で 316 台、2006 年から 2020 年度の回収は 8,832 台にのぼっています。学内の放置自転車を減らし、リサイクルに関心を持ってもらう活動や大学部局との連携により、放置自転車の減少につながる活動を行っています。

2020 年度は、政府の要請にもとづく「計画停電」の対応と節電対策を、大学と密接に連携して行いました。生協店舗の照明や冷蔵什器等の照明も可能な限り節電に努めています。

今後は、理事会のもとに設置した環境課題推進委員会で、2020 年度の取り組みを踏まえて、引き続き環境課題に取り組んでまいります。

毎年、確実に一歩・一歩前進していきたいと思っておりますので、引き続きご指導をお願いします。

2021 年 5 月 26 日
専務理事 小助川 誠

北大生協環境活動概要

◇ 事業規模 (3月初め2月締)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
組合員数(人)	25,273	25,783	26,479	26,152	25,636	
出資金総額(千円)	392,434	391,364	392,502	392,587	391,086	
供給総額(千円)	4,460,653	4,366,577	4,196,266	4,143,040	2,839,044	
内訳	購買部	2,019,084	2,140,623	2,155,089	2,191,950	1,944,054
	書籍部	627,325	453,512	429,755	418,518	414,304
	食堂部	908,814	1,038,942	995,269	979,363	285,132
	旅行部	859,265	599,053	479,624	428,235	114,946
	その他サービス	46,165	134,447	136,529	124,973	80,608
経常剰余(千円)	5,316	1,381	▲21,218	▲33,865	▲223,922	
正規職員数(人)	48	47	47	38	35	
非正規職員数 ^{*1} (人)	220.1	224.8	221.1	220.8	124.9	
土地 ^{*2} (㎡)	3230.22	3246.14	3301.89	3302.3	3291.05	
建物 ^{*2} (㎡)	6706.34	6699.56	6648.6	6647.87	6648.35	

*1 正規換算は、年間 2,000 時間をもって 1 名として換算しています。

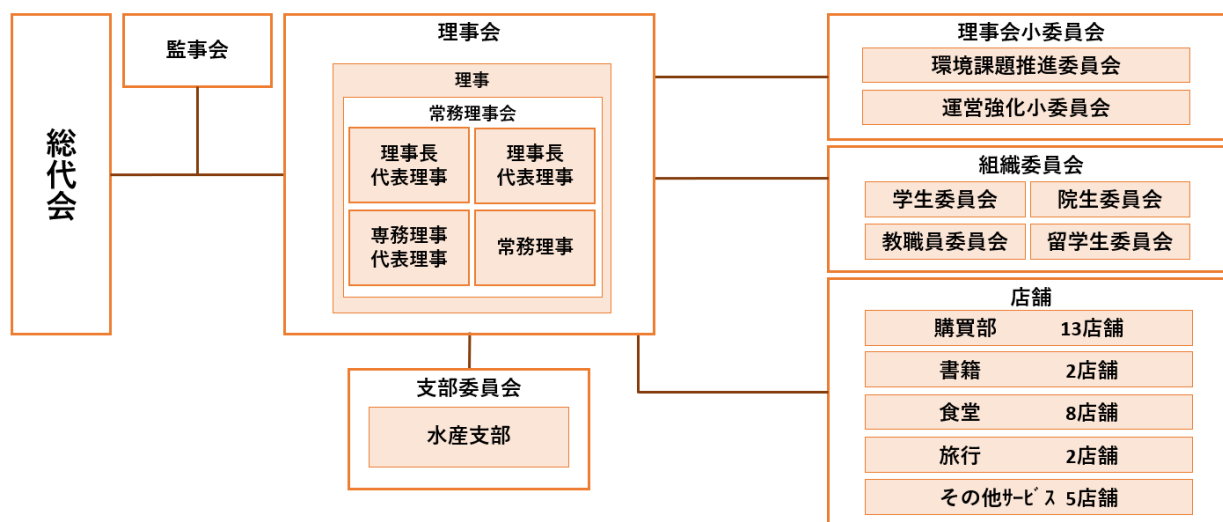
*2 借用面積を含む札幌と函館の総面積

◇ 運営組織

理事会小委員会は、北大生協の各組織を横断して、学生・院生・教職員・生協職員が参画しながら特定の課題を推進するために設置されます。理事会の下部組織であり、各年度当初の総代会で設置が承認されます。

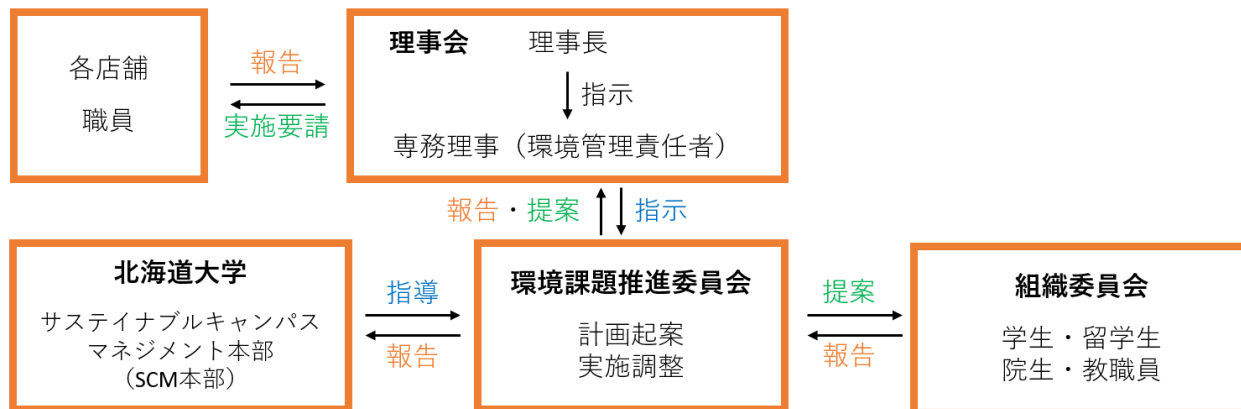
環境課題推進委員会は 2008 年度より毎年設置承認され、常任のメンバーとして各組織委員会の委員や理事会室職員が参加しています。また、議題によっては各店舗の店長や監にもオブザーバーとして意見を仰ぎながら、北大生協として取り組むべき環境課題について提言を進めてきています。

運営組織図



◇ 環境課題推進委員会

理事会の指示の下、各店舗や組織委員会に対して環境対策の諸提案を行います。また、北大生協の環境活動について北海道大学に報告し、指導を受ける窓口となっています。北海道大学内外のサークル・研究室等からの協力要請に対して、理事会に諮りながら協力・支援をしています。



◇メンバー

委員長 伊藤 凌 (大学院 1 年・自然史科学専攻)

委員 中山 拓登 (大学院 2 年・農学院環境資源科学専攻)、
植松 実緒 (大学院 2 年・工学院環境創成工学専攻)、
稲垣 征哉 (大学院 2 年・環境科学院地球圏科学専攻)、
水谷 圭佑 (大学院 1 年・工学院環境創成工学専攻)、竹淵 啓祐 (文学部 4 年)、
高橋 廉 (理学部 3 年)、高木 暉馬 (農学部 3 年)、三澤 建成 (工学部 2 年)、
大澤 理恵 (教育学部 2 年)、小篠 隆生 (教員)

オブザーバー 越智 亮太 (情報科学院 2 年)、原田 佳子 (経済学部 4 年)、平 裕 (北大 SCM 本部)

事務局 加藤 優弥、軸丸 典彦 (生協職員)

◇ 2020 年度の主な委員会活動

- 7 月 7 日に第 1 回環境課題推進委員会を開催。その後、総計 7 回の委員会を開催しました。
- 8 月 2 日に YouTube にて全国大学生協連主催の「全国環境セミナー2020」が開催されました。当日の分科会にて伊藤委員長が「北大生協環境課題推進委員会～生協全体で計測的に行っている環境活動」として事前にプレゼンを録画し、当日 YouTube にて配信されました。
- 11 月 14 日に Zoom Webinar にて、サステイナブルキャンパス推進協議会主催の「CAS Net JAPAN2020 年次大会」が開催されました。
- 2021 年 4 月に生協店舗に対し、節電状況のヒアリング調査を実施しました。
- 2021 年 5 月に 2021 年度環境報告書 (本誌) を作成しました。

◇ 2020 年度の活動報告

■ コロナ禍での北大省エネ意識に関する Web アンケート調査



コロナウィルスの影響も踏まえて、学生の意識にどのような変化があったのかを調べるためにアンケートを作成しました。タスクチーム立ち上げ当初のメンバーが興味を持っていた、エネルギー消費やレジ袋利用に関する質問を考えました。大学構内や家庭でのエネルギー消費行動についての質問で省エネルギーを促すための方法を模索したり、レジ袋有料化実施後の利用やごみ袋などへの再利用について調べることを目的としています。

アンケートには、主に北大生協の学生組織委員会や院生組織委員会のメンバーに協力を依頼し、テスターとして回答してもらいました。現在はアンケート結果の分析途中ですが、今後の環境課題推進委員会の活動に活かしていく予定です。

■ 生協職員の省エネ意識に関するヒアリング調査



北大生協の食堂や購買における節電の実施状況や意識を調査するために、正規職員やパート職員に対してヒアリング調査を行いました。エアコンは適切な温度に設定されているか、パソコン・プリンターはこまめにスリープモードにしているか、使わない照明は消しているかなど、北海道大学が示している省エネの指針が意識・実践されているか調査しました。照明の管理やプリンターのスリープモードなどは意識されている店舗が多かった一方、エアコンやポットの温度設定は意識・実践されにくい傾向がありました。また、現状では、職員の個人的な意識によって節電が行われていることが多いため、今後は全店舗・全職員に対して共通の節電指針・方法を発信していく必要性を確認しました。

今回得られたデータをもとに店舗間で比較したり、実際の電力使用量を調べたりすることでより詳細な分析を行い、具体的な改善策を提案していくことを次年度の課題にしています。



ヒアリング時（北部購買職員と環境課題推進委員）

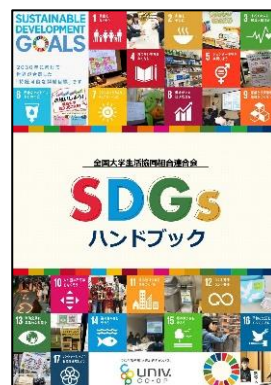
■ セミナー参加

環境問題に取り組む団体としてセミナーにも参加しています。昨年度は CAS-Net JAPAN（サステイナブルキャンパス推進協議会）2020 年次大会他、大学生協連合会が開催する「全国環境セミナー」にて、分科会「大学生協一体の取り組み」の時間をいただき、発表を行いました。（右記 QR コードにて公開）



■ SDGs ハンドブック

全国大学生生活組合連合会発行「SDGs ハンドブック」にて、取り組みが北大生協と水産大学校生活協同組合の座談会形式で取り上げられました（https://www.univcoop.or.jp/staffroom/nus_im/webapp/data_file/201009044249_1.pdf を参照下さい）。



◇ 環境保全

■ 食堂の運営状況



北大生協の食堂は、北はレストランポプラから、南はクラーク食堂と全部で7店舗営業しています。基本メニューは統一されていますが、一部オリジナルメニューも提供しています。使用している食材は、ほぼ全国規模の交渉となっておりますが、鮮度が命のカット野菜は、地区によって生産地が変わります。北大生協では、玉ねぎやゴボウ、ジャガイモなど北海道産を使用しております。右記表を食堂で掲示して、カット野菜の産地を伝えております。オリジナルメニューでは、道産の食材を採用していることが多くあります。

2021年度には5月開始でミールカード（1日上限の食堂年間利用定期券）を扱っており、忙しい平日もしっかり安定して食事を摂ることができます。また、生協での購入履歴をインターネットでいつでも確認することができ、食事のカロリーや栄養バランスをグラフで確認もできます。

2021年5月現在、食堂を利用する際には、最大15分間の利用や黙食をお願いしております。

2021年4月度
大学生協様向け原料予定産地表

原料	原料産地	備考
キャベツ	愛知 茨城	
大根	千葉	
白菜	茨城	
胡瓜	宮崎 群馬	
レタス	茨城 北海道	
牛蒡	北海道	
玉葱	北海道	
長葱	茨城 埼玉	
万能葱	鹿児島 福岡 静岡	
ピーマン	宮崎 沖縄 茨城	
紫キャベツ	愛知 静岡 鹿児島	
ニラ	茨城 北海道	
じゃがいも	北海道	
人参	千葉 徳島	
南瓜	鹿児島 沖縄	
筍	中国	

※ 天候などの影響で原料産地が変更になる場合もございます。都度、連絡致します。

株式会社 大果

■ 食堂排水の管理



各食堂には、厨房などからの排水に含まれる油脂を捕集・分解する「グリストラップ（以下 GT）」が設置されています。GTには生ごみや油脂が溜まるため、食堂では少なくとも週に1回、職員が生ごみや汚泥を取り除く作業を行っています。これにより、排水中の油脂分などが直接下水道や浄化槽に流れることを防ぐことができます。また、清掃を行っても発生する雑菌や臭いは、オゾン分解装置によって分解し排水を浄化しています。北大生協では、農学部・中央・医学部・工学部の各食堂にオゾン分解装置があり、毎日の清掃がきちんと行われていれば、大がかりな清掃はほとんど必要ありません（北部・クラーク・ポプラ・獣医学部ではオゾン分解装置が設置されていないため、年2回ほどのGT清掃が必要です）。年に1回、水質検査を行い、排水中の油分等の確認を行っています。



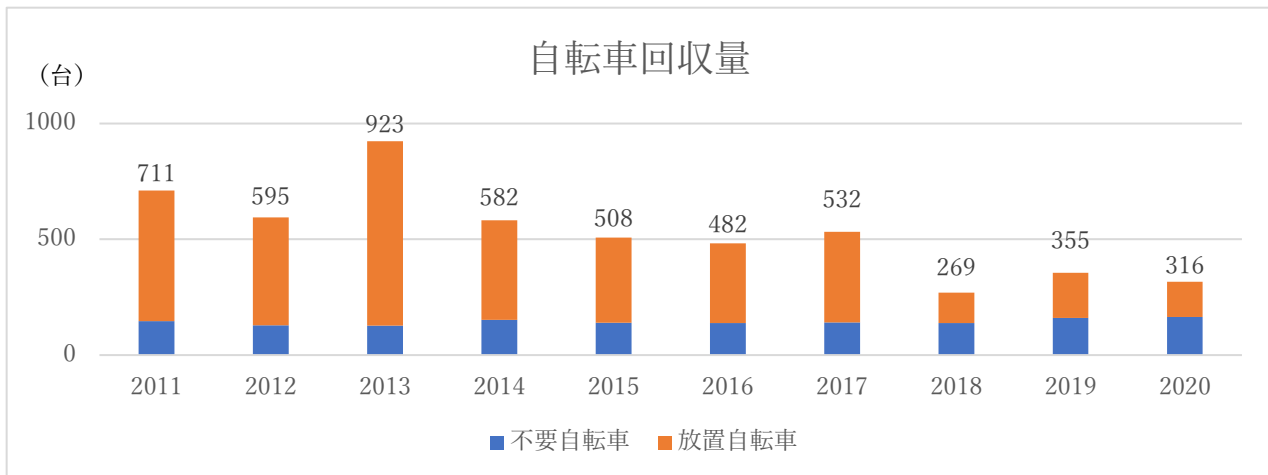
清掃後のグリストラップ（クラーク食堂）

◇ 環境保全

■ 不要自転車・放置自転車の回収とリサイクル自転車の販売



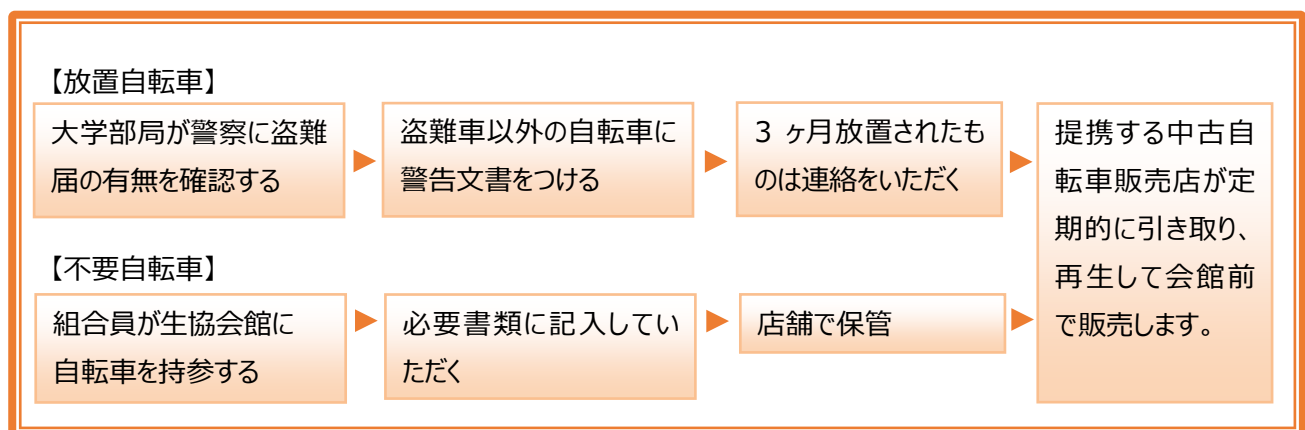
組合員からの不要自転車の引き取り、および大学構内での放置自転車の回収を行っています。2020年度は組合員から譲渡された不要自転車が164台（昨年度160台）、キャンパス内で回収した放置自転車が4部局から計152台（昨年度3部局195台）でした。北大生協で回収した放置自転車は大幅に減少していますが、協力部局数の減少に比べ台数の減少幅は小さいことや学内の利用状況から見て、自転車放置自体が大幅に改善されているとは考えにくいです。



2020年度における不要自転車・放置自転車回収台数 内訳

回収場所	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
組合員	90	2	6	2	0	4	5	7	8	10	7	23	164
施設部	0	0	0	0	14	0	12	0	0	0	0	0	26
獣医学部	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	32
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	0	0	73
生協会館前	0	15	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	21
小計	0	15	0	0	14	0	12	32	0	79	0	0	152
合計	90	17	6	2	21	4	17	39	8	89	7	23	316

～放置自転車・不要自転車の回収の流れ～



◇ 資源の循環利用

■ ごみの分別状況

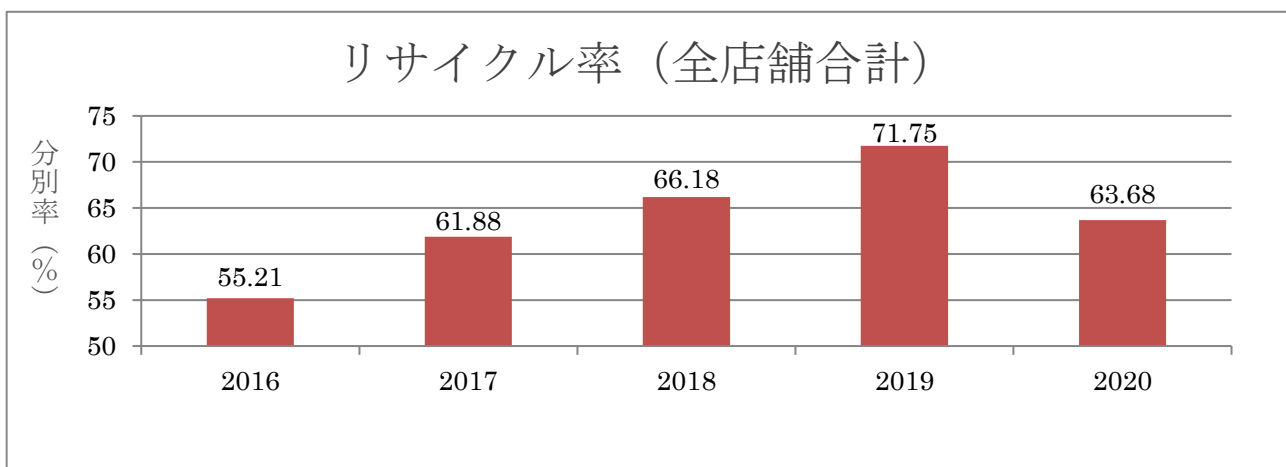
北大生協では 2008 年 6 月より一般ごみに含まれていた生ごみの分別を始めました。売れ残った弁当やおにぎりなどを資源化ごみと生ごみに分別しています。

分別率は、2011 年度と比較すると、月別、年度別ともに、大きな変化はありませんが、やや低下傾向にあります。前年度と比較し分別率が減少したことが分かります。年度別の分別内訳を分析すると、2012 年度は前年度と比較して、ごみの総計は微増しています。また店舗別で見ても、会館・クラーク店以外、ごみ総計は増加しているため、分別開始時に比べて分別の意識が下がっていることが考えられます。分別率が低い店舗への分別の状況確認や必要に応じて呼びかけなどを行う必要があります。また会館・クラーク店では分別率が減少していますが、これは自動ごみ圧縮機により資源化ごみが減少したことが理由として挙げられます。

北大生協 ごみ分別表

札幌市課程の分別	内訳	北大生協	回収後の処理方法
燃やせるごみ	台所のごみ（生ごみ）	食品ごみ（食堂・購買の廃棄食品）	養鶏などの飼料に加工します
	汚れた紙ごみ	資源化ごみ	高温・高圧で固化し 地域暖房に使う 固形燃料にします
	木片（割箸・へら・楊枝）		
	ゴム・ビニール・布・革製品		
資源ごみ	プラスチック容器包装・発泡スチロール	紙ごみ	再生紙資源
	紙・新聞紙・ダンボール		
	ビン・缶・ペットボトル	資源ごみ	それぞれのリサイクル資源
燃やせないごみ	金属・VTRテープ・皮・ブロック	産業廃棄物	埋め立て 又は 焼却
	鍋やかん・洗面器・木の根		
	スプレー容器・ガラス・せともの		
	蛍光管・乾電池※		
枝葉草	草・枯れ葉・切り花		
大型ごみ	木の枝・幹（50cm以上）		
	その他家具・家電		
家電リサイクル	TV・冷蔵庫・洗濯機・エアコン	家電リサイクル	家電リサイクル
PCリサイクル	PC本体・モニター	PCリサイクル	PCリサイクル

※乾電池は、マンガン・アルカリ乾電池を指す。リチウムイオン充電電池は購買店舗で回収後、理事会室へ

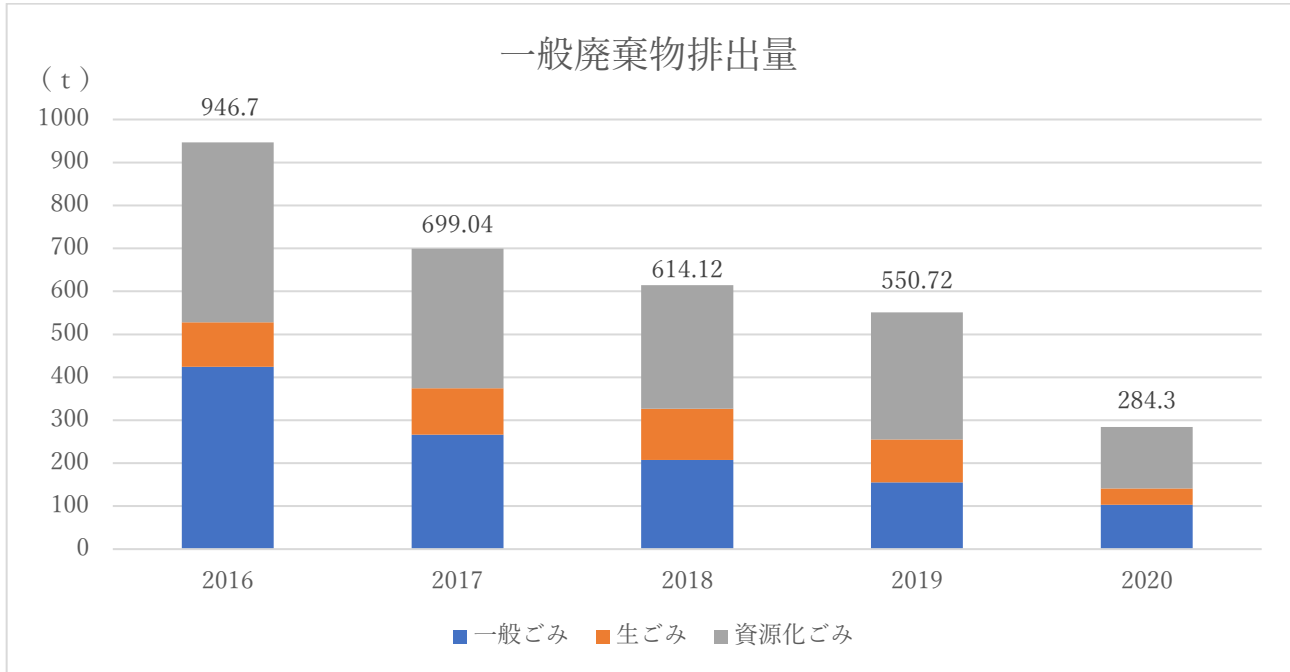


※リサイクル率は、（一般ごみ＋生ごみ）÷（一般ごみ＋生ごみ＋資源化ごみ）で算出しております。

◇ 資源の循環利用

■ 一般廃棄物の排出量

7 店舗（会館・クラーク、医学部、北部、中央、工学、農学、ポプラ）にて、回収している一般廃棄物の数量になります。2017 年 4 月から、3 店舗（会館・クラーク、中央、北部）が㈱サポート・ワンと契約を締結し、資源ごみの圧縮を開始しました。翌 2018 年 9 月から工学部も同様に契約を締結しました。資源ごみ圧縮により、体積の約 30%減少が確認できました。



■ 国産間伐材割り箸の使用

北大生協の食堂で使用している割り箸はすべて、持続可能な森林管理の行われている北海道下川町の FSC 認証林から産出している間伐材で作られています。日本の森林全体の約 40%を占める人工林は、間伐をしなければ丈夫な木が育たず荒廃します。間伐材とは、この過程で間伐された木材のことです。間伐材割り箸を利用することは、安定的に間伐材需要を増加させて、日本の森林の育成に協力することになります。食堂では、カーボン箸と割り箸から組合員が選択して利用できるようになっています。



下川町の町有林



FSC 認証は、森林の管理認証 (FM 認証) と加工・流通過程の管理認証 (CoC 認証) からなっています。

◇ 資源の循環利用

■ 産業廃棄物

食堂で使用している調味料などの廃プラスチックボトルや食材の入っていた発砲スチロール、商品購入に関わり不要になった PC や家電家具は、産業廃棄物として定期的に回収してもらっています。

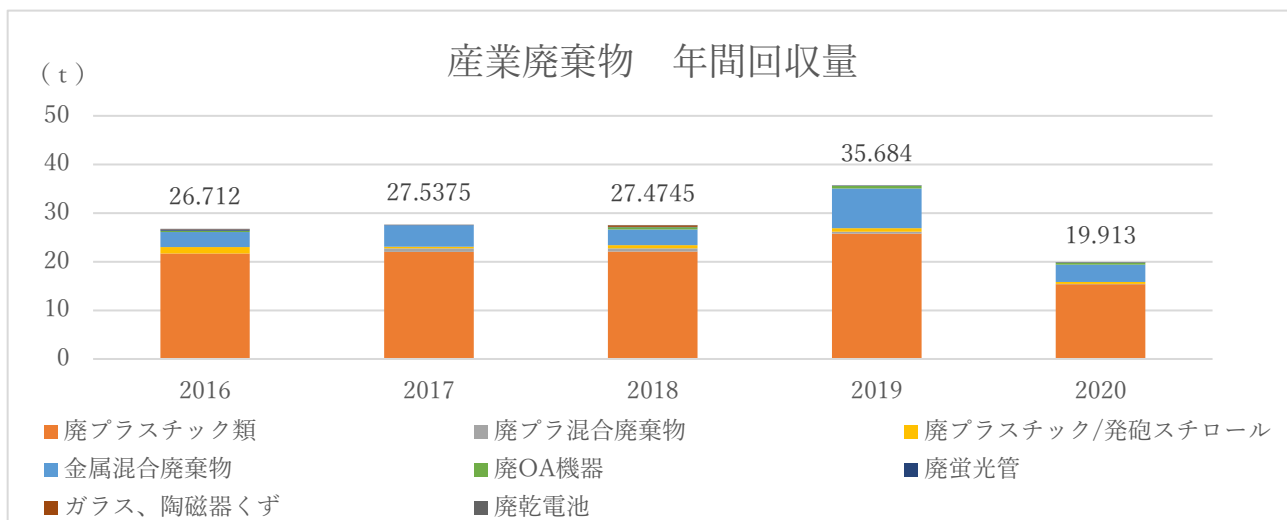


表 2020 年度 店舗別 産業廃棄物別回収量 (t)

	工学部	北部	中央	医学部	農学部	ポプラ	会館	合計
廃プラスチック類	2.625	3.276	1.761	0.890	0.490	1.057	5.282	15.38
廃プラ混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0.067	0.067
廃プラスチック/発砲スチロール	0	0	0	0	0	0	0.424	0.424
金属混合廃棄物	1.130	0.113	0	0	0	0	2.280	3.523
廃 OA 機器	0.005	0.005	0	0	0	0	0.135	0.145
廃蛍光管	0.001	0.037	0.003	0	0	0	0.017	0.058
ガラス、陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0
廃乾電池	0	0	0.002	0	0	0	0.039	0.041
合計	3.906	3.441	1.766	0.890	0.490	1.057	8.499	20.049

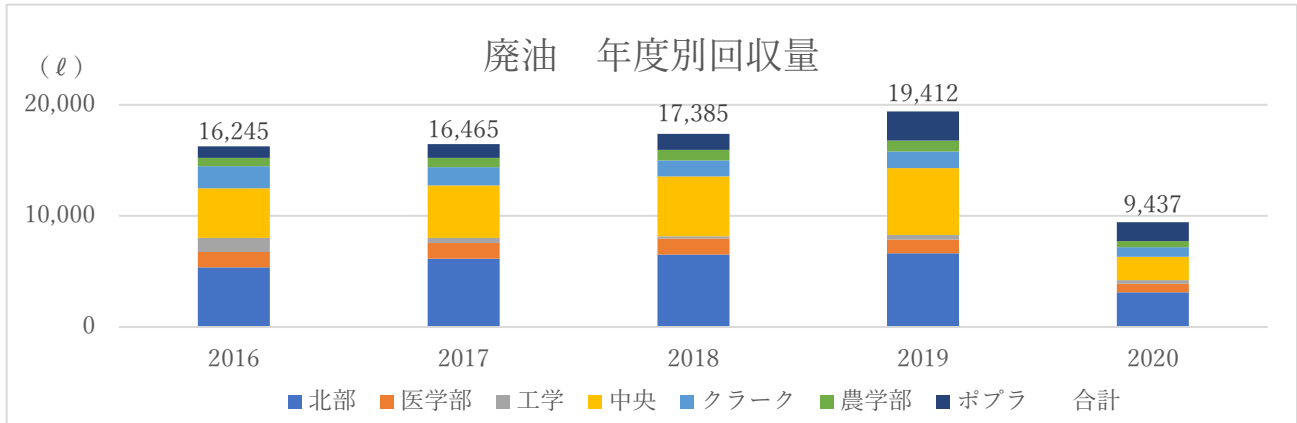
表 2019 年度 店舗別 産業廃棄物別回収量 (t)

	工学部	北部	中央	医学部	農学部	ポプラ	会館	合計
廃プラスチック類	5.390	6.181	5.026	1.450	1.558	0.662	5.505	25.774
廃プラ混合廃棄物	0	0.090	0.018	0	0	0	0.352	0.433
廃プラスチック/発砲スチロール	0.006	0.016	0	0	0	0	0.662	0.684
金属混合廃棄物	0	5.537	0	0	0	0	2.659	8.196
廃 OA 機器	0.005	0.020	0.010	0	0	0	0.140	0.175
廃蛍光管	0.004	0.027	0.012	0.006	0	0	0.010	0.059
ガラス、陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0
廃乾電池	0.013	0	0	0	0	0	0	0.013
合計	5.428	11.911	5.086	1.459	1.558	0.662	9.581	35.684

◇ 資源の循環利用

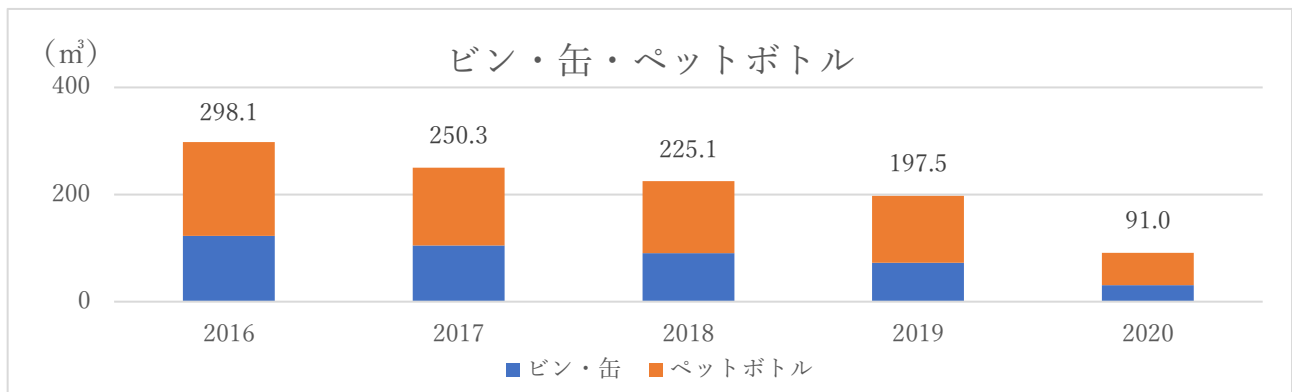
■ 食堂廃油のBDF化

食堂で使われた揚げ物用の油（植物油）はすべて回収し、BDF（Bio Diesel Fuel）の原料としています。BDFは軽油と比較して環境負荷が非常に少なく、カーボンニュートラルの特徴を持つため、環境・健康に優しいエネルギーとして注目されています。BDFは、主に札幌市の公用車（ゴミ運搬車など）に利用されています。組合員からの回収も行っているため、ぜひお持ちください。



■ ビン・缶・ペットボトルの再資源化

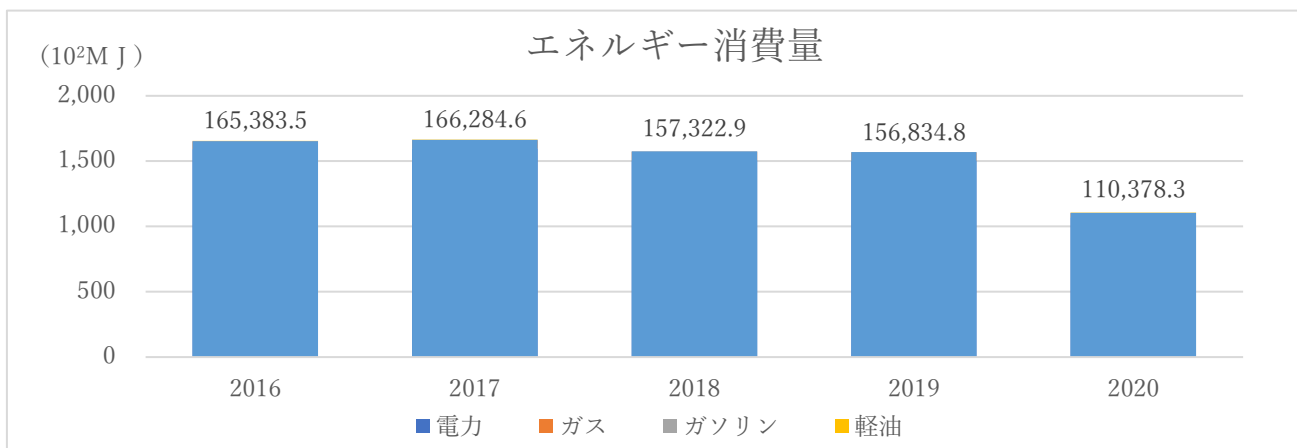
札幌キャンパス内の自動販売機に備えてある空き缶入れからビン・缶・ペットボトルをリサイクル業者に回収してもらっています。回収された資源は、様々な形で再資源化されています。ビンはスーパーソル（人口軽石）、スチール缶は建築用の資材など、アルミ缶は飲料用のアルミ缶、ペットボトルは粉碎して繊維製品に再利用されています。



◇ 環境データの推移

■ 総エネルギー消費量

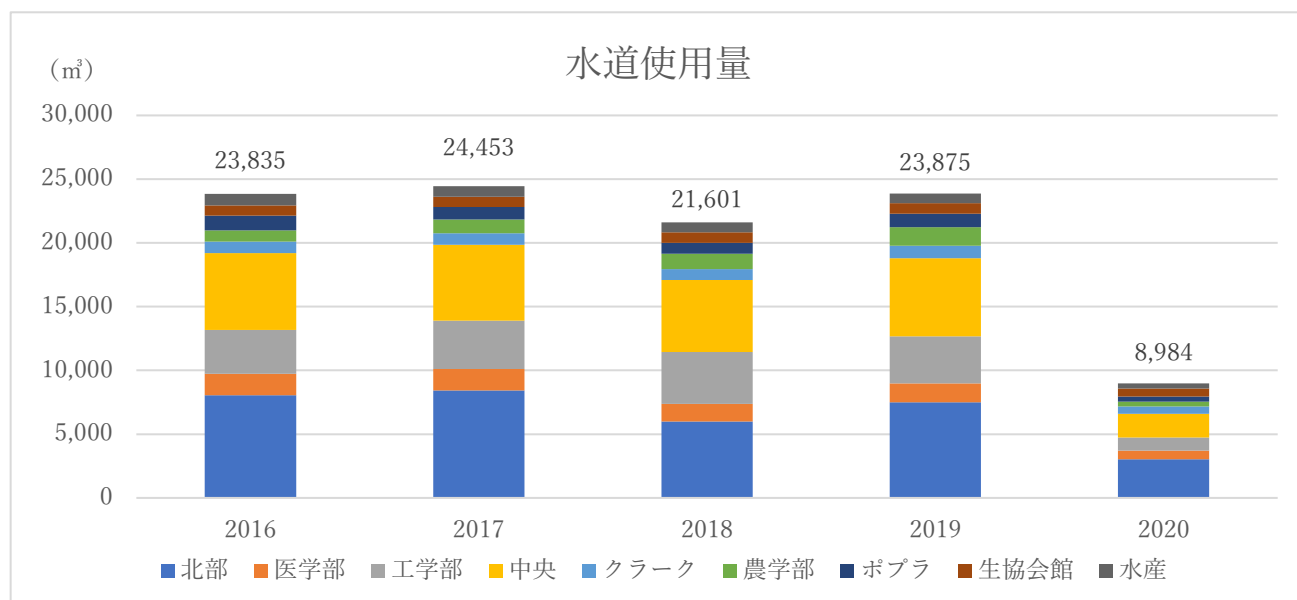
電力 98935MJ
 ガス 3269MJ
 ガソリン 226MJ
 軽油 0.96MJ



※エネルギー種別の換算係数 ガス 44.8MJ/N m³ 電力 9.76MJ/kWh ガソリン 34.6MJ/L 軽油 37.7MJ/L

■ 水道使用量

2020年度は各店にて、短縮営業及び休業を実施したため、前年度比 37.6%と大幅な減少となりました。また、北部食堂の厨房にて、強制節水システムの試験運用を進めております。



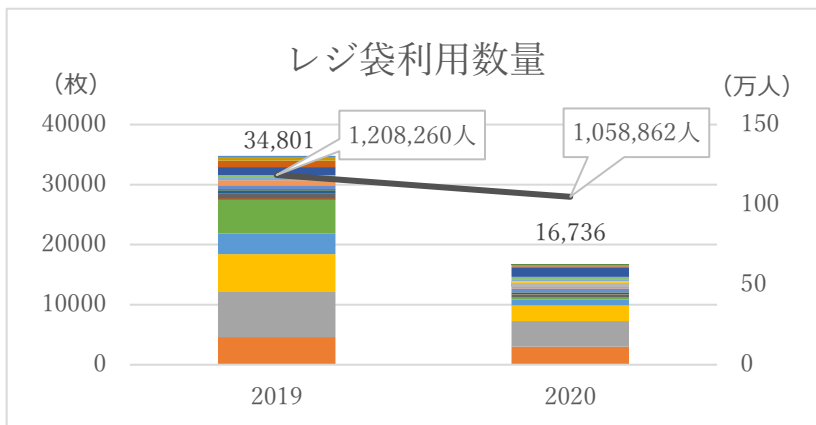
◇ 環境データの推移

■ レジ袋使用量

2019年6月より購買・食堂においてレジ袋が有料化しました。さらに2020年7月よりすべての店舗にて、レジ袋の無料配布が終了となり、サイズに関わらず1枚5円の販売となりました。2020年度の辞退率は96.64%でした。辞退率は、食堂がテイクアウトのみレジ袋の利用となるため、購買と書籍のみの辞退率となります。

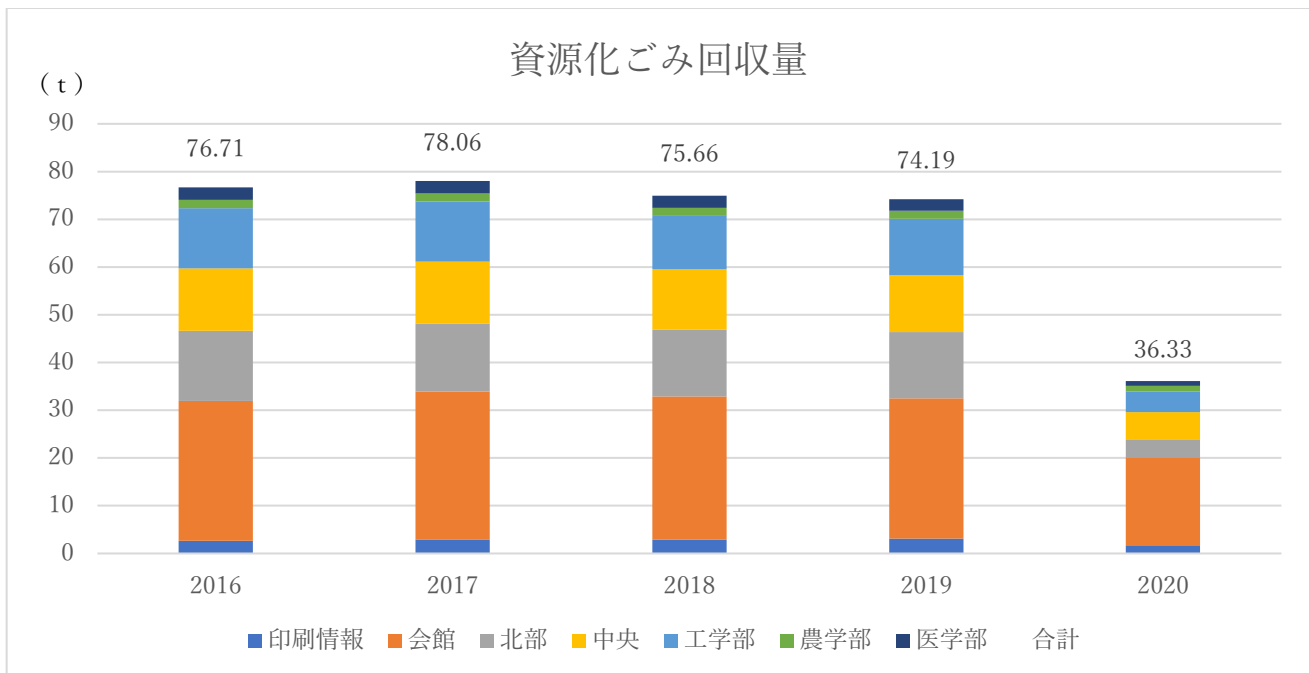
※2020年は、2020年3月～2021年2月まで

2019年は、有料化した2019年6月～2020年2月まで



■ 資源化ごみ回収量

古紙回収は大学全体で紙類節減を呼びかけている影響で、総回収量は減少しています。生協では、不要になった古紙（書類・新聞・雑誌・段ボールなど）を組合員の方が入れられるように店舗に回収BOXを設置し、紙の再資源化を行っています。



組合員・地域の方へ

これまでの内容でもご紹介しましたとおり、北大生協で行っている環境の取り組みの中には、組合員のみなさんや地域の方々にご参加・ご協力をお願いしているものがあります。この報告書をご覧いただいたことを契機に、これらの取り組みにご協力・ご参加いただければ幸いです。

■ 資源回収を行っています

北大生協の店舗では、下記のものについて資源回収を行っております。ご家庭でご不用になりましたものがありましたら、ぜひお持ちください。

- ・不要自転車引き取り …北大生協会館 1 階サービスカウンター
- ・廃食用油 …北部食堂、中央食堂
- ・牛乳パック・古新聞 …北部店 2 F
- ・インク・トナーカートリッジ …生協会館、工学部購買、北部店 2 F

■ 組合員活動への参加をお待ちしています

北大生協では、機関誌の配布や組合員活動（組合員のみなさんと一緒に行う取り組み）を行っています。まだご存じない方には、ぜひご覧いただき、またご参加いただければと思います。

- ・機関誌 …letter（学生組織委員会）、きぼうの虹（院生・教職員委員会）
- ・生協へのご意見 …「組合員の声」投稿（各店舗の「組声 BOX」、または北大生協 Web ページ）

北大生協からの情報をご覧ください

北大生協からは、最新の情報を Web サイト等でご紹介しています。また、過去の環境報告書や「組合員の声」などの情報もご覧いただくことができます。学生委員会の Web ページでは、ごみナビゲーションの詳しい情報なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。ご質問等ございましたらお気軽に、メールまたはお電話にてお寄せください。

- 北大生協 Web サイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/>
- 環境課題推進委員会 https://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/univcoop/suishin_iinkai/
- 北大生協学生委員会 <https://hokudai-coop-gi.com/>
- 北大生協院生委員会 <https://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/insei/>

Twitter アカウント

- 北海道大学生協同組合 [@HU_COOP_KK](https://twitter.com/HU_COOP_KK)
- 北大生協学生委員会 [@HU_COOP_GI_CS](https://twitter.com/HU_COOP_GI_CS)
- 北大生協院生委員会 [@Hokudainsei_coo](https://twitter.com/Hokudainsei_coo)

ここまで「2021 年度 北大生協環境報告書」をご覧いただき、ありがとうございました。

これまでのページでご紹介してきた取り組み・データは、いずれもまだまだ改善の余地があるものばかりです。ぜひ、組合員のみなさん、地域の方々のご協力とご指導を賜りながら、改善を進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも北大生協へのご支援をお願いいたします。

北大生協 2021 年度環境課題推進委員会 委員一同

環境報告書 2021

発行

北海道大学生協同組合

発行年月

2021年5月

編集

北大生協理事会
北大生協環境課題推進委員会

対象期間

2011年3月～2021年2月

問い合わせ先

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目
TEL : 011-746-6218
E-Mail: seikyou@coop.hokudai.ac.jp